

創立 1964年 6月16日  
認証 1964年10月19日

第2510地区 第11グループ



Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2003~2004



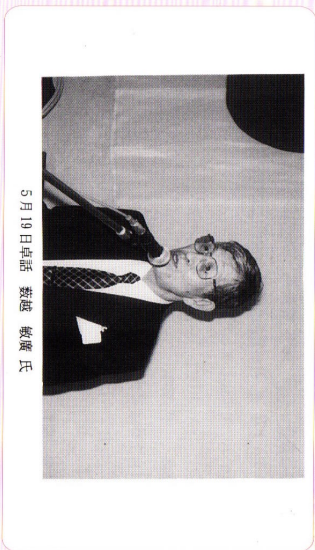
2003~2004年度  
3月会長  
三ツ野B、マリアベ  
国際ロータリーのテーマ  
『手を貸そう!』

## 四つの手

……言行はこれに照らしてから……

1. 真実か どうか
2. おりに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか

北村 祐治 会長テーマ 『YES, I DO!』さあ、行動しよう!



5月19日卓話 教壇 教壇氏

## 《第1967回例会》 第43号 6月2日(水)

### 本日のプログラム

「クラフアセッション」

★会長 北村祐治(幹事) ★幹事 柴崎晃

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL:23-5151  
 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL:23-3870

(230)

函館の街で、最高のおもてなしを…



# 函館国際ホテル

〒040-0064 函館市大手町5番10号 <http://www.hakodate.ne.jp/kokusuhotel/>  
 TEL:01381-23-5151(代)

(広告掲載：竹谷 満 会員)

函館北ロータリークラブはweb(ホームページ)を公開しております。

<http://www.hakodate-north.org/>  
 e-mail: 三ツ野B@hakodate-north.org

### 2003~04年度 函館北ロータリーの事業目標

1. 一般社会の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「こ」の方でつながる「こ」——2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕——\*地域社会・市入交番安全重(1300名)の寄贈(記念賞状)  
ロータリーになる新世代への教育普及、徳の普及を目指す——

- \*国際奉仕：国際奉仕活動の「芽」を育てる  
今、他国では、一方丹の奉仕の面影が十倍、二十倍に広がりました。  
FR.1,3400地区インハネン・シヨウヤカリク・タマヤシR.C.を助けて、小学校の図書支援のため、本箱・机・本1500冊などの物品を寄贈する。」  
4. インターネット・コミュニケーション委員会を設置し、当クラブ以外のクラブとの情報交換を円滑にし、合わせて、会員企業の情報交換に貢献する。  
5. 友人の苦難に苦難を添い、友人の成長を助けて、「手」を貸しましょう。  
——Lend a Hand and Take Action with our heartfelt care  
——for Rotary's international vision!

### ◎5月12日出席報告

会 員	37名	出席率対数会員		36名
		出席規定免除会員	1名	
当 日 出 席	25名	当 日 欠 席	11名	
他 ク ラ ブ 出 席	6名	出 席 合 計	31名	
出 席 率				86.11%

・テレビオンサービス(例会移動案内) 電話 28-3170 番

次回・6月8日 移動例会 「第10・11分区合同例会」  
 プログラム ホテル函館ロイヤル 18時~



## ◎卓話 「函館ラグビー発展のために」

函館市ラグビーフットボール協会 会長 藪越 敏廣 氏

当協会の運営推進に際しましては常には変わらぬご理解とご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

4月13日(日)平成15年度のラグビースクールの開校式時に和田哲之氏を中心にスクールの父母会が設立されました。これは協会にとりまして画期的な快挙であります。とくに7月27日(日)第30回秋田金足西ラグビースクールの交流会(函館大会)もホームステイをはじめ記念レセプションや当日の大会運営、昼食提供等々も大勢のご父母のお手伝いを頂き盛大に開催することができました。又、9月14日(日)に開催されたスクールの大運動会もスクール生・ご家族・指導員一体となつて大いに盛り上がることができました。

昨年は6月22日(日)に第1回函館ロータリークラブラグビー大会が根崎ラグビー場で盛大に開催されました事は特筆されることです。NHK杯ラグビー大会(11月)とを合わせて道南のラグビーの普及振興に大きく貢献しているものと関係機関に心より深く感謝を申し上げる次第であります。

昨年度から広告会員制を廃止してチーム会員と賛助会員制のみに切り替えました。本来ラグビーは受益者負担が原則ですが、グラント維持管理や、大会運営、強化の面では資金が必要です。チーム登録料や会員登録料の値上げにより個人の負担をお願いし、従来までの広告会員の方々に快く賛助会員に切り換えて頂きなんとか予算編成が可能になりました。賛同賜りました賛助会員の方々に改めて感謝申し上げます。協会としても会員名簿の作成を手作りのポケット版に切り換える等、経費削減には積極的に努めていく覚悟ですのでよろしくお願いいたします。

去る10月12日(日)に第25回北海道不惑大会(函館大会)が9チームの参加を得て開催され、素晴らしい秋空のもと、オールドラガーメンの往年の名プレイヤーが再現されました。当日、昼食時には会員の奥様方の手作り豚汁の提供は何とも言えない温かい味があり夫婦一体でラグビーに取り組みフターワッチフアンクションにも参加してい

たできました。

私はよくラグビーは子供たちを大人に成長させ、良き社会人に成長すると申してきました。それは個人の努力は勿論のこと、ラグビーを取り巻く環境要因が子供たちを立派な大人に成長させているものと確信しております。そのような環境が少しずつ整備されつつあることは私も関係者にとりましてはこの上ない喜びであり、今後の行く末を見守っていきたいものです。今後とも変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

× × × × × × × × × × × ×

第83回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会が、各地域の予選を勝ち抜いた南北16チームが集まり、9月24日(水)・25日(木)・27日(土)に帯広の森球場で開催されました。

函館地区から第1代表の函大有斗高校、第2代表の函館稜北高校が参加。平成11年度以来函館地区からの遠ざかっている「花園」を目指し大会に臨みましたが、10数年ぶりに両チーム一回戦敗退という残念な結果に終わってしまいました。本校は小樽潮陵高校との対戦でしたが、2年ぶりの全道大会出場ということで選手が緊張し、動きが鈍く、前半は0-14で折り返し、後半は2トライをあげるも、12-31で敗退しました。展開ラグビーが持ち味のチームでしたが、一番大切なブレイクダウンのところをスプリントで支配され、ボール獲得率が低くなつたことが敗因だと考えています。

今大会を通じて感じたことは、南北ともにベスト4に残つたチームは道外遠征や合宿を重ねていることです。札幌山の手高校のようにNZ遠征を実施しているところは格別でしょうが、ベスト4に入った美幌高校や小樽潮陵高校も社会人チームのNECや近鉄との合同練習、現役選手を呼んで講習会を実施するなど、チーム強化の中に道外チームやトップチームとの交流を積極的に進めています。選手にとつての研修だけでなく、指導者の研修の場にもなっているようで、函館地区の強化に参考になるのではないしょうか。